

クラブ活動について

1997年以降のクラブの変遷

『岸和田高等学校の第一世紀』には過去に岸和田高校に存在したクラブの歴史が詳細に記録されているが、『岸高の120年』には2017年3月時点におけるクラブの紹介文のみが記載されており、各クラブ・同好会の歴史については取り扱われていない。それどころか、年表部分にすらクラブの歴史は一切記載されていない。そこで、『第一世紀』が発行された1997年以降のクラブについてここに記す。

……とは言っても情報の少なさにより、はっきりしたことはなかなか分からないのだが。

情報源

クラブ部員調査表

クラブ代表者名簿及び部員数・顧問名

1年に1～2回、クラブ・同好会に対してクラブ部員調査表により人数調査が行われる。この人数調査によって作成されるのがクラブ代表者名簿及び部員数・顧問名である。

現在、2008年6月、2011年4月（1年生除く）、2012年2月、2013年2月、2014年4月、2015年5月、2015年10月、2017年5月、2017年10月、2018年2月、2018年5月のデータが発見されている（一部のクラブ・同好会が欠けているデータも含む）。

クラブ予算

2009年度までのものと、2015,17,18年度のものが現存。

毎年クラブに対して自治会会計から予算が支給される。クラブが存在していることを確認できるが、部員がいない等の理由により省略されているクラブもあるため、この表に存在しないことはクラブの不存在の証明とならない。また同好会の存在は把握できない。

新入生部活紹介冊子

1988,89年度と、2006年度以降（2015,16年度除く）のものが自治会室に現存。また2016年度の冊子については、私物のスキャン画像が当書に収蔵されている。

新入生に対して配布される冊子で、前年度末に存在したクラブ・同好会の一覧が掲載されている。ただし古い年代のものについては掲載されていないクラブ・同好会が存在する。

岸高祭プログラム

岸高祭に参加しているクラブの名称を知ることができる。1987年度以降の全年度のものが残っているため、継続的な状況を知ることができる。

情報のあいまいさについて

- ・クラブ予算は同好会には与えられないので、予算資料には同好会は掲載されない。そのため、同好会の活動実態はよくわからないものが多い。
- ・また、予算を請求していないクラブも予算資料に掲載されないことがあるので、クラブが休部状態であるかもはっきりとしないことが多い。
- ・クラブの名称変更についての届出資料はほとんど残っていない。他の資料についても、すぐ

にクラブ名が更新されるとは限らず、情報が錯綜していることが多い。

また一昔前までは予算資料などであってもクラブ名の一部が省略されていることが多く（男子バスケット、陸上など）、これらについては名称変更があったのか、正式な届け出なくいつの間にか変わっていたのかも定かではない。

新設されたクラブ・同好会

少林寺拳法部

自治会所蔵の資料によると、2007年7月25日に同好会設立申請書が提出され、2008年12月1日にクラブ設立申請書が提出された。また、PTA新聞『ゆうかり』によると、2007年の11月に同好会として成立、2009年の初めに部となった。

その後2018年度時点まで存続している。

鉄道研究部

2012年2月8日時点のクラブ人数調査において同好会として掲載されており、また2012年8月27日づけの部への昇格届が存在する。また、2012年12月1日掲載の校長ブログ記事には、同年9月に部となったという記述が存在する。

「2011年9月に同好会として成立」という情報もある（ソース不明瞭、ゆうかり？）。

その後2018年度時点まで存続している。

数学探究同好会

2012年2月8日時点のクラブ人数調査において同好会として掲載されている。2012年3月発行の『ゆうかり』には登場しなかったが、同年7月発行のものには紹介記事がある。

その後2018年度時点まで存続している。

リビング部

2013年夏に同好会として成立、2016年までに部となった（ソース不明瞭、ゆうかり？）。

クラブ人数調査では2014年4月2日時点で初登場し、2015年5月時点では同好会だった。

また岸高祭プログラムにおいては2014年度に初登場し、2016年度の時点でクラブとなっている。

その後2018年度時点まで存続している。

クイズ研究同好会

2018年2月13日に同好会設立希望届が提出され、2月28日の生徒議会で設立が可決された。

クラブに昇格したもの

将棋同好会→将棋部→囲碁将棋部

自治会所蔵の資料によると、2003年に部に昇格した（6/13申請、7/3文化系顧問団会議、9/12文化系クラブ代表者会議、9/19生徒議会、9/25職員会議）。

その後、将棋部から改名された。『ゆうかり』や新入生向けクラブ紹介冊子においては2009年度の時点で「囲碁将棋」となっている（2013年度クラブ紹介冊子を除く）。

クラブ人数調査においては、2011年1月時点では「将棋」、2012年2月以降は「囲碁将棋」となっている。

その他予算資料や岸高祭プログラムからは該当する時期のデータは発見されていない。

設立申請があったが、残っていないもの

旅と鉄道同好会

2001年1月10日に設立申請書が提出された。

ピアノデュオ同好会

2001年4月18日に設立申請書が提出され、9月6日に文化系顧問団会議、10月2日に文化系クラブ代表者会議、10月30日に生徒議会で議論され、翌年2月にはクラブ化の議論も行われた。

硬式テニス同好会

自治会所蔵の資料によると、2003年度および2005年度に設立申請があったそうである。

邦楽同好会

自治会所蔵の資料によると、2003年度に設立申請があったそうである。

映画研究同好会

当同好会が初めて登場するのは2013年2月のクラブ人数調査。その後、同年の『ゆうかり』や岸高祭プログラムにもその名前が存在する。しかし、2014年4月2日時点での調査では部員が1人もいない状態となり、2015年5月の調査結果資料では当同好会の名は見られなくなった。

廃部となったもの

ラグビー部

2000年2月1日時点で2年生5人の部員がいたが、翌年2月1日時点で部員はいなくなった。2003年2月1日時点でも部員はおらず、以後資料に現れない。

アーチェリー部

2003年2月1日時点で2年生1人、1年生1人の部員がいた。しかし以後の資料には現れない。

映画研究部

2001年2月1日時点で2年生3人の部員がいた。また、2001年度のクラブ代表者一覧に部長の氏名が記載されている。しかし2003年2月1日時点で部員はおらず、以後資料に現れない。

新聞部

最後の岸高新聞は1997年6月11日の第254号。1999年2月1日および2000年2月1日時点で部員がいないことが確認できる。また、2001年度クラブ請求用紙の宛先に記載されている。その後2005年度クラブ予算策定で、従来あったクラブ予算からの岸高新聞発行代の割り当てが廃止されたことから、廃部になったものとみられる。

聖書研究部

1997年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記述されている。また、2001年度クラブ請求用紙の宛先に記載されている。その後の記録はない。

社会科学部

『第一世紀』には1993年度に3名の部員がいたが、翌年度は0名であったと確認できる。1995年度と96年度は記載されていない。1997年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記載があ

るが、その後の記録はない。

詩吟部

『第一世紀』には1995年度に2名の部員がいることが確認できるが、翌年度は0名であった。1997年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記載があるが、その後の記録はない。

手芸部

『第一世紀』には「1994年以降は活動停止の状況にある」と記載されている。1997年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記載があるが、その後の記録はない。

図書同好会

『第一世紀』には1995年度に7名の同好会員がいることが確認できるが、翌年度は0名であった。1997年度クラブ予算資料には記載がなく、その後の記録もない。

落語研究部

『第一世紀』には1996年度に1名の部員がいることが確認できる。しかし1997年度クラブ予算資料には記載がなく、その後の記録もない。

活動実態・名称の変更

フォークソング研究部→軽音楽部

「活動の実態に合わせるため」として部から改名申請があり、2002年2月20日の生徒議会で承認された。

剣道部

男女別から男女合同のクラブと変化したようであるが、その時期が非常に不明瞭である。

クラブ予算においては、2009年度まで男女が別となっていた。2010～14年度は資料がないため不明であるが、2015年度予算では男女合同となっている。

しかし人数調査においては2008年の時点で男女合同の部活として扱われていた。また、新入生用のクラブ紹介冊子には2006年度から男女合同の部活として扱われている。『ゆうかり』では2009年7月発行のものが男女合同の初出である。

バドミントン部

こちらも男女別から男女合同のクラブと変化したようである。

『第一世紀』によると1996年度の時点で女子がクラブとして成立、男子は同好会として成立していた。クラブ予算においては2009年度まで一貫して女子バドミントン部のみ掲載されていたが、2015年度予算では男女合同となっている。人数調査においては2008年の時点では女子バドミントン部のみの掲載であるが、2011年1月31日時点ではバドミントン部として男女の別無く記載されている。

一方、新入生用のクラブ紹介冊子には2006年度から男女合同の部活として扱われている。『ゆうかり』では2009年7月発行のものが男女合同の初出である。

アニメーション研究部（アニメーション漫画研究部）

名称が最も錯綜していたであろうクラブ。『第一世紀』には現在の名称と同じ「アニメーション研究部」として掲載されているが、2000年代の資料の多くでは「アニメーション・漫画研究部」として掲載されていた。以下に具体例を挙げる。

岸高祭のプログラムにおいては、2004年度以前と2011年度以降は「アニメーション研究部」（またはその略称、以下も同様）と記載されているが2005年度から2010年度まで「アニメーション漫画研究部」と記載されている。

クラブ補助金資料においては、1997年度～2008年度は「アニメーション漫画研究部」、2009年度は一つを除いて「アニメーション研究部」と記載されている。なお岸高祭補助金資料においては2007年度の1枚を除き「アニメ研」などのような略称で記載されており正式名称は把握できない。

新入生用のクラブ紹介冊子においては、2006年度と2012年度以降は「アニメーション研究部」、2007年度～2011年度まで「アニメーション漫画研究部」と記載されていた。

クラブ人数調査においては、2008年度時点では「アニメーション」と略記されているが、2011年1月以降は一貫して「アニメーション研究部」と記載されている。

略記されていたと思われるもの

『第一世紀』では現在と同じ名称で掲載されているクラブ

陸上（1998、陸上競技）

野球（硬式野球）

男子バレー・女子バレー（男子バレーボール・女子バレーボール）

男子バスケット・女子バスケット（男子バスケットボール・女子バスケットボール）

男子ハンド・女子ハンド（男子ハンドボール・女子ハンドボール）

人権研究（1997、人権問題研究）

『第一世紀』で略記されていたクラブ

体操（体操競技）

庭球（1997）・軟式庭球（第一世紀）（ソフトテニス）

新入生オリエンテーションの形態

2002年度：この年のクラブ紹介は体育館開催となった影響で、新入生オリエンテーション後に冊子の配布と執行部によるクラブ・自治会の説明、部員による一言アピールのみとなり、パフォーマンスは禁止となった。

2003年度：翌年のクラブ勧誘は、入学式当日のビラ配り、多目的ホールでのクラブ紹介（紹介・冊子・一言アピール）、ポスター掲示

2004年度：翌年度のクラブ勧誘については、入学者説明会でのクラブ勧誘を許可。またクラブ紹介は、50秒以内の一言アピール→自治会活動の説明→クラブ紹介冊子を配布。

2018年度：4月12日（木）、45分授業で6限の後に開催。はじめにクラブ紹介冊子を配布し、自治会執行部4人が活動の説明を行い、その後1クラブ1分（参加しないクラブもあり）の紹介を行う。司会は庶務委員で、各紹介間にクラブに関するコメントを言う。

その他

文芸部の部誌の名称について

『第一世紀』にはクラブ誌の名称として『ひとびと』『ファンシイ通信』（または『ファンシー通信』）『戦略』『少女』（または『PETITE FILLE—少女—』）『カバディ』といった多様な名が挙げられている。それ以降についてはしばらくは不明であるが、2007年ごろの『ゆうかり』に新生文芸部誕生にあたって部誌の名称を『久遠』としたという旨の記述がある。その後、2019年度文化祭でもこの名称が使用されている（ただしその間の名称の連続性は検証されていない）。

アニメーション研究部の部誌の名称について

『第一世紀』には冊子の名称として「会誌『夢色娘』や『ぼくのマンガ』の発行など」とある。その後、1999年岸高祭で『夢色娘』『夢色娘／別冊』が発行されており、また2003年9月の自治会資料に『夢色娘』とあるが、2008年ごろのPTA広報誌『ゆうかり』には『SKY』とあり、この間に名称が変化したと思われる。その後、2019年度文化祭でもこの名称が使用されている（文芸部と同様、名称の連続性は検証されていない）。